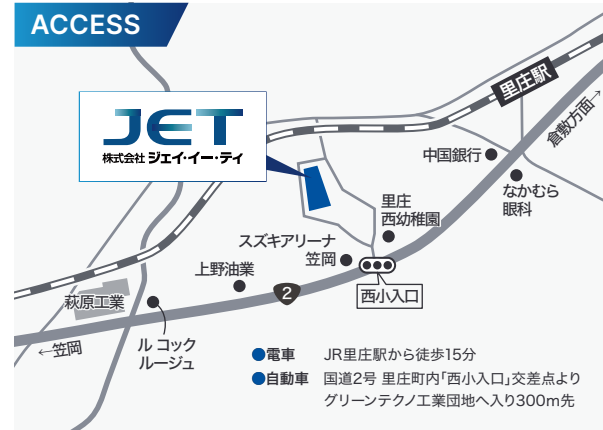


JET

株式会社 ジェイ・イー・ティ

会社名	株式会社ジェイ・イー・ティ
英語表記	J.E.T. Co., LTD.
代表者	代表取締役社長 房野 正幸
所在地	〒719-0302 岡山県浅口郡里庄町新庄金山6078 6078 Shinjo Kanayama, Satosho-cho, Asakuchi-gun, Okayama 719-0302
TEL	0865-69-4080
創業年	2009年4月
資本金	18億4,888万円
従業員数	171名 ※連結会社含む従業員数298名(2024年6月30日時点)
事業内容	半導体洗浄装置の開発・設計・製造・販売・アフターサービス等



各拠点について

■ 東京事務所

〒205-0001 東京都羽村市小作台1-4-21 KTDキョーワビル小作台2階
KTD Kyowa Building Ozakudai 2F, 1-4-21 Ozakudai, Hamura-shi, Tokyo 205-0001
TEL:042-533-5182 FAX:042-533-5183

■ 大阪事務所

〒532-0003 大阪府大阪市淀川区宮原4-1-14 住友生命新大阪北ビル9F
Sumitomoseimei Shin-Osaka Kita Building 9F, 4-1-14 Miyahara, Yodogawa-ku, Osaka-shi, Osaka 532-0003
TEL:06-6125-5000 FAX:06-6125-5050

■ 九州出張所

〒870-0915 大分県大分市花高松1-3-3
1-3-3 Hanatakamatsu, Oita-shi, Oita 870-0915
TEL:097-556-8666 FAX:097-556-7811

子会社

■ (株)ジェイ・イー・ティ・アグリ (笠岡ファーム) (アグリ事業)

〒714-0054 岡山県笠岡市平成町97
TEL:0865-63-8151 FAX:0865-63-8150

■ J.E.T. SEMI-CON. INTERNATIONAL TAIWAN, INC.(HEAD Office) 協裕國際科技股份有限公司

3F-2, No.30, Taiyuan St., Jhubei City, Hsinchu County 302, Taiwan, R.O.C.
TEL: +886-3-552-5666 FAX: +886-3-552-5669

■ J.E.T. KOREA CO., LTD.

132, Annyeongnam-ro, Hwaseong-si, Gyeonggi-do, 18363 Korea
TEL: +82-31-267-2177 FAX: +82-31-267-2179

■ Oribright Shanghai Co., Ltd.

欧利白科技(上海)有限公司(本社)

Room 2501B, Bld. A, Baodi Plaza, No. 688, Dalian Road, Yangpu Dist.,
Shanghai, 200082, P.R.China
TEL: +86-21-60452760 FAX: +86-21-60452768

■ JET AMERICA INC.

100 E Royal Lane, Irving, TX 75039 USA

WEBサイト



世界を牽引する テクノロジーが創る 強い技術基盤

Business Infrastructure



JET
株式会社 ジェイ・イー・ティ

経営理念

お客様第一主義に徹し
強い会社・良い会社づくりに邁進し
人を大切にし、
社会貢献に努めてまいります。

社是

01 夢に日付を付ければ
目標となる

02 目標を分ければ
計画となる

03 計画を実行すると
現実となる

ご挨拶

先端テクノロジーの基盤となる半導体。
その半導体を支えるのが、私たちジェイ・イー・ティです。

またその技術開発力はリチウムイオン電池検査装置など
新しいエネルギー分野にも広がり、人々のより快適で、より便利な暮らしを
幅広く後方支援しています。

目まぐるしいスピードで進化する技術分野。

その真ただ中に身を置く企業として
「さらなる新技術への挑戦」「より役立つ製品づくり」を軸に
これからも私たちは進化し続けてまいります。

代表取締役社長

高野正幸



未来をつくる6つの約束

私たちは6つの約束を基本に考え、行動します。
一人一人がこれを理解し備えることで、広く世界に貢献できる
プロフェッショナル集団をめざしていきます。



精神

私たちはまず
一步踏み出すことから始めます。
夢と情熱とあきらめない姿勢を活力にします。



人

私たちは人の力を何よりも大切にします。
お互いを思いやり、信頼し合い、絆を深めながら、
仕事に取り組みます。



顧客

私たちは常にお客様の立場で考えます。
お客様に感動を与えられるよう
全力を尽くします。



挑戦

私たちは挑戦する姿勢を大切にします。
そして挑戦する力を全員で応援します。



迅速

私たちは常にスピードと効率を意識し、
その準備を怠りません。臨機応変な対応と
一歩先を読む意識を持って取り組みます。



技術

未来は、私たちの技術から生まれます。
常に最新の情報を共有し、
技術の継承と育成をしていきます。

沿革

- 2009年4月 株式会社ジェイ・イー・ティを設立
- 2009年5月 エス・イー・エス株式会社の半導体事業部門である「岡山G T工場(現本社工場)」を事業譲渡により取得併せて、同社が保有する台湾現地法人「協裕国際科技股份有限公司(現J.E.T. Semi-Con. International Taiwan, Inc.)」、中国現地法人「艾使易電子貿易(上海)有限公司(現Oribright Shanghai Co., Ltd.)」、及び韓国現地法人「K.S.E.S. Co.,Ltd.」の全株式を事業譲渡により取得し、子会社化
- 2009年12月 韓国現地法人「K.S.E.S. Co., Ltd.」を清算
- 2010年1月 中国現地法人「艾使易電子貿易(上海)有限公司」を「杰羿替電子貿易(上海)有限公司」へ商号変更
- 2012年12月 中国現地法人「杰羿替電子貿易(上海)有限公司」を増資し、ZEUSが引き受け同社の商号を「杰宜斯科技(上海)有限公司(ZEUS China Co., Ltd.)」に変更
- 2014年8月 リチウムイオン電池(以下「LIB」)検査・製造装置事業に進出
- 2019年3月 中国現地法人「杰宜斯科技(上海)有限公司(ZEUS China Co., Ltd.)」の株式をZEUSより取得し完全子会社化
- 2019年9月 中国現地法人「杰宜斯科技(上海)有限公司(ZEUS China Co., Ltd.)」を「欧利白科技(上海)有限公司(Oribright Shanghai Co., Ltd.)」へ商号変更
- 2020年9月 韓国現地法人「J.E.T. Korea Co., Ltd.」を設立
- 2020年11月 アグリ事業(㈱OSMICがFC展開するオスミック農産物生産事業)に進出
- 2021年3月 株式会社東京証券取引所 TOKYO PRO Market に上場
- 2021年10月 株式会社ジェイ・イー・ティ・アグリを設立
- 2023年9月 株式会社東京証券取引所 TOKYO PRO Market の上場廃止
株式会社東京証券取引所 スタンダード市場 に上場
- 2023年10月 米国現地法人「JET AMERICA INC.」を設立



半導体事業

半導体製造の前工程で使用される
半導体洗浄装置の
開発・設計・製造・
販売・保守を行います

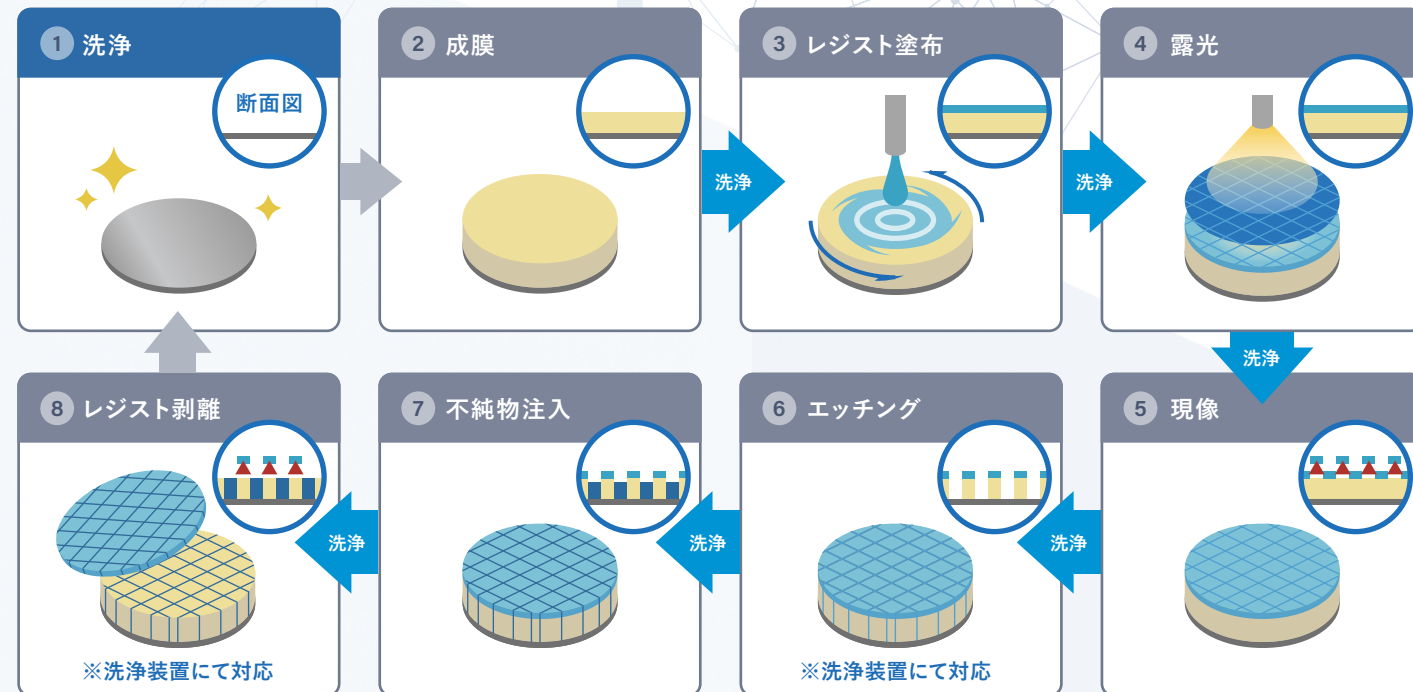
当社が開発した半導体洗浄装置は、顧客の要求仕様に合わせて細やかなカスタマイズが可能という点で、他社のカスタマイズの自由度の低い洗浄装置とは一線を画しています。差別化された技術で対応する事が可能です。主に韓国、中国、台湾の半導体メーカーへ販売しており、また新たに日本国内および米国への販売も開始しています。



半導体洗浄装置が使われるシーン

前工程

半導体製造プロセス前工程(500工程以上)において、前工程の30~40%(工程数ベース)が洗浄装置を使用する工程と考えられています。



前工程を何度か繰り返した後 **後工程** へと移ります

主力製品

BW3700

300mmウエハ対応

バッチ式
洗浄装置



BW3000

300mmウエハ対応

バッチ式
洗浄装置



BW2000

200mmウエハ対応

バッチ式
洗浄装置



HTS-300

300mmウエハ対応

枚葉式
洗浄装置



LIB事業

リチウムイオン電池(LIB)に
関連する検査・製造装置の
販売をおこなっています

成長の見込まれるリチウムイオン電池 (LIB)に関連する検査・製造装置の事業拡大をおこなっております。LIBの弱点となる発熱・発火・爆発といったリスクが製造段階で検出可能になり、基本技術について特許を取得しています。また全固体電池への対応も開始しております。

アグリ事業

有機培土・低農薬の安心安全な
農産物を生産
農地の有効活用にも取り組んでおります。

株式会社OSMICがFC展開するオスミック農産物生産事業を採用し、2020年11月高糖度トマトの出荷を開始。翌年10月には独立した法人として個別採算管理を徹底するために株式会社ジェイ・イー・ティ・アグリを設立しました。

※オスミック農産物とは、株式会社OSMICが開発した有機培土栽培方法により栽培された農産物です。



企業の持続的成長に重要となる 環境(E)・社会(S)・ガバナンス(G)への取り組み



環境
Environment



社会
Social



ガバナンス
Governance

ジェイ・イー・ティがこれからも成長していく上でこのESG・SDGsといった持続可能な社会を実現していくことが企業経営基盤の強化となり、さらなる成長に繋がると考えます。

私たちの経営理念にも掲げている「強い会社・良い会社」づくりに邁進するためジェイ・イー・ティに係わるすべての人を大切に、より一層の社会貢献に努めてまいります。



02 アグリ事業の展開

有機培土・低農薬の安心安全な農産物を生産しております。また、農地の有効活用にも取り組んでおります。



環境への取り組み



01 環境への配慮

半導体製造のプロセスでは多量の水(純水)と薬品(化学物質)を使用するため、環境負荷低減に向けた製造技術の開発が求められております。当社においては、『環境負荷の低い薬品を使用するプロセスへの対応』、『薬品の使用量削減技術への対応』、『水の使用料削減・再利用技術への対応』を実現する洗浄装置の開発を通じ、全世界の半導体製造工程における環境負荷低減を追求してまいります。

社会への取り組み



01 働き方改革の実践

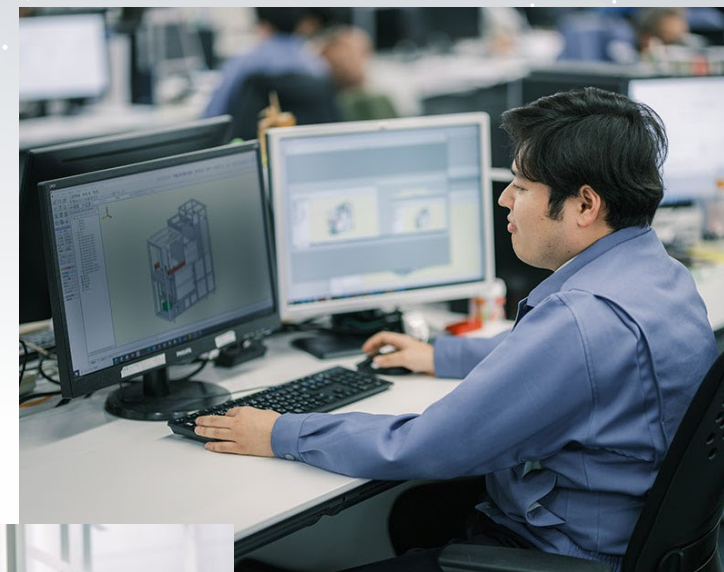
すべての社員に向けて、健全かつ健康な労働環境を提供しております。また、年次有給休暇取得を推奨しております。

02 キャリア開発

職場の学ぶ文化・育成する風土を醸成しています。リーダー育成、パーソナライズされた学習機会の提供、社会人生活を通じたキャリア形成をサポートしております。

03 地方創成への貢献

地元人材の積極採用、地域業者との連携を継続し、持続可能な地域社会の実現をサポートしております。また岡山マラソンへのミニトマト提供などを行っております。



ガバナンスへの取り組み



01 コンプライアンス機能強化

各種法令、社内規則、社会規範の遵守に努めております。意思決定の透明性・公正性、情報開示の適切性、内部管理体制の実効性の確保に向けた取り組みに力を入れております。

02 リスクマネジメントの徹底

ステークホルダーからの信頼獲得および企業価値の維持・向上を支える経営基盤の確立・強化に取り組んでおります。その一環として、リスク管理委員会を設置・運営し、統合的リスクマネジメントを推進しております。

社会貢献活動 企業版ふるさと納税の取り組み

企業が地方自治体に寄付を行うことで、地域活性化や持続可能な社会づくりを支援し、同時に自社の社会的責任を果たすことができます。

- 笠岡市 「笠岡市自助・共助による減災のまちづくり支援計画」事業(2021年9月)
- 浅口市 「天文のまちあさくちまち・ひと・しごと創生推進計画」事業(2021年6月)
- 井原市 「まち・ひと・しごと創生寄附活用事業」事業(2021年8月)

